

# アンケートには意見や要望がいっぱい 上越地区委員会の市民アンケートの回答、次々到着



市民本位の市政実現めざして日本共産党上越地区委員会がいま取り組んでいる市民アンケート。14市町村が合併して5年目に入っているなかで、市民の皆さんが市政の課題、合併後の市民サービス

をどうみているか、「新しい市政の最高責任者」に何を望むかなどを探るものとして注目されています。

市民の皆さんには、8月末までに回答をお願いしていますが、お盆を過ぎた頃から毎日のように回答が地区委員会事務所に届き、すでに500通を超えています。

寄せられた回答の特徴のひとつは、○をつけるのではなく、回答を文章で書いていただくことになっている間にたくさん書き込みがあることです。なかには表面だけでは足りなくて裏面にも書いてくださるものもあります。文章回答のうち、いくつかを今回、紹介します。

【合併後の市民サービスについてどう受け止めていますか】

○合併前よりも地方の方が、なんとなく、た

とえば道路の草刈りが遅くなってきたようだ。

○木浦市長の子育て支援が充実されていてサービスは良くなった。

○広報、市議会だよりだけでは上越市で今何が起きているか解りにくい。又、私自身にも偏見があるのかもしれないが、何か遠い市になったと思います。

○懇談会など、各集落に出向いての説明会など、市民との直接的な(懇談の)機会がなくなった。

○いままで受けられたサービスが受けられなくなった。農協、郵便局などは小地域に限り、もっとも必要な場です。合併後はいろいろと仕組みも変わり、市民から遠くなって利用しづらくなってきました。

【あなたは市政の新しい最高責任者に何を望みますか】

○後期高齢者として安心して生活できるように願いたい。

○上越市は合併してあまりにも広く、色々と大変でしょうが、どうか中心部だけではなく、山の手の方の吉川地区、浦川原地区、柿崎、大潟などにも目を向けてください。

○今後の国を支える"子供たち"、その子供たちを"産んでもよいかなー"とママが思えるような環境にしてほしい。

○住民が、その日の暮らしに不安がなく、先の暮らしに明るさを感じるよう、常に気を配ってくださいる人。

○地方に目を向けて、県の方に強い気持ちで意見をどしどし言ってほしい。

## シリーズ 上越市内の橋

### 第6回 板山の木橋

大島区板山と言えば不動尊が有名です。この橋は不動尊の近くにある木造の橋。田麦川の支流にかかっています。橋の長さは約10メートル。(竣工年月は調査中です)かつてはどこにでもあった木橋ですが、いまは高田公園内の極楽橋などこの橋くらいなもの。渡るだけで懐かしさがこみあげてきます。夏には、この橋の近くで川魚のつかみ取りも行われています。



○山間地が住みよくなるよう努力してほしい。

○全県の中の上越市を常に頭の中に入れ、上越市全域の中の市長であるべき信念をもって歩んでほしい。

お寄せいただいたアンケートの回答は膨大なものとなります。10月上旬には「まとめと主要内容」を文書で、回答全文はホームページで公開する予定です。



友人である菅井稔さん(上越市在住)の流木を使った作品展を観てきました。「黙々と木の魂の声をきく」。どの作品にも「いのち」があり、力強さがあります。作品展はJR新井駅から徒歩3分の「スタジオゼロ」で9月2日まで開かれています。時間は午後1時から6時まで。ただし、木、金曜日はお休みです。土日は作者もいるそうです。ぜひ訪ねてみてください。